

VILLA LODOLA



8月5日から8月21日まで全世界に感動を与えてくれたオリンピック。日本代表が過去最多のメダルを獲得したことでも話題となり、連日日本でもオリンピックの話題で持ちきりだった。そしてその五輪の炎は、日本に引き継がれることとなった。

五輪がオーガニックを求めている！？

五輪とオーガニックの強い関係とは。

東京五輪とオーガニック。2016年現在、この二つの単語を並べられてもピンと来る人はほとんどいないだろう。しかし実は、2012年のロンドン五輪以来、五輪での食料調達においてオーガニックの存在感は高まり始めているのだ。そしてロンドン五輪の根底にあるのは「オーガニック」と関係性の深い「サステナビリティ（持続可能性）」の考え方。これらは今年のリオ五輪はもちろん、東京五輪にも当てはまる。日本のオーガニック事情はそのニーズに応えられるかが東京五輪までの今後、課題となるはずだ。

「オリンピックレガシー」は「オーガニック」

「オーガニック」＝「サステナビリティ」

オリンピックをやるたびに、その後の都市が荒廃するようではいけない。

建物

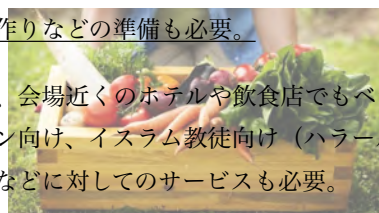
ラッシュで建てる建築物がいい加減で、危険なものではいけない。化学物質で汚染された部屋はいらぬ。新たな会場をやみくもに建設することだけに経費を使うのではなく、「オリンピック終了後のどのように使用していくのか、街にいかに恩恵が与えられるか」を構想の軸になってきている。



食料

フードビジョンという形で、選手からのオーガニック食材へのニーズが高まっている。フェアトレード、有機栽培、持続可能な生産をされた認証（オーガニック認証）のあるものを、地元の生産者から安全なものを大量に調達しなければならない。五輪の数年前から土壌作りなどの準備も必要。

また、会場近くのホテルや飲食店でもベジタリアン向け、イスラム教徒向け（ハラール認証）などに対するサービスも必要。



環境

持続可能な運営規格「ISO20121」の「環境面」の中には「資源活用」「排出量削減」「原料調達」などがある。例えば、会場を作る木材や、大会で使用する紙はすべてFSC認証を取得したものを使わなければならない。



ロンドンでは五輪以降もオーガニックマーケットが地域に根付き、今でも街はオーガニックで活気付き、四年を経た今でも認証した食材が並んでいる。日本も2020年のオリンピック以降オーガニックがさらに定着化するであろうと予測される。

アロマコミュニケーションで さらなる感動を。

人はお店に行った時、「香り」を意識し、「香り」があることで気分が良くなり、好意的なイメージを持つ。

→「香り」はお客様が快適な時間を過ごすために重要な要素となっている。

エッセンシャルオイルは脳にダイレクトに届き、感情や本能を動かす「大脳辺縁系」や自律神経をあやつる「視床下部」に作用する。分子がとても小さいため血液・粘膜・皮膚から体内に入り、神経系・免疫系・ホルモン系などに様々な効果を発揮する。病院で実際に治療のためにも使われ、科学的実証が◎！！

その結果・・・香りは効果効能もしっかりあり、しかも忘れにくい！！良い思い出・良い体験として記憶に残してくれる！✨これは動物として当たり前でそうなるもの。

アロマをサロンのカラーやヘッドスパ、その他のメニューに組み込むことで、お客様は施術時間も気持ちいい♡内側も綺麗になる♡しかも忘れにくい♡

これがアロマカラーやヴィラロドラマニューの価値・リピートの良さにも繋がっている。

他業種でもアロマは活用されている！！

◆星野リゾート◆ホテルの場所やシーンに合わせて香りを変えている。ただ「いい香り」というだけで焚いているのではなく、若のスタッフがお客様とお話するきっかけ作りのために活用。香りをいろんな所に仕掛け、アロマコミュニケーションを行っている。

◆レクサス◆お客様が感じる車のイメージ＝金属的な重く硬い・冷たいイメージをアロマによって変えている。

◆病院◆消毒や薬品の匂いを消し、リラックスでき安心出来る空間を。

サロン内での アロマコミュニケーション例

